

「57577展」の実施報告について

- 1 開催期間：2022年1月29日（土）～3月27日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：4,993人／49日間(1日平均：102人)
- 4 出品作家（歌人）：岡野大嗣、木下龍也、伊藤紺、鈴掛真
- 5 出品/展示デザイン：秋山智憲
- 6 協力：天野慶、幻冬舎、ナナロク社、
書肆侃侃房（しょしかんかんぼう）

7 開催報告

ポストコロナに向けて、ことばらんどが提案する新しい体験型の展覧会として、現代短歌をテーマとした「57577展－訪れてくれたあなたの足跡と共に続いてゆく物語」を開催しました。

展示スペース全体を作品のイメージに合わせたデザインにしたり、身近にあるものに短歌を織り込んで表現したデザイン短歌の展示をするなど視覚的に楽しめる空間を作ったほか、5音・7音のことばが書かれたカードやボールを組み合わせて、お客様自身に手軽に楽しく作歌体験をしていただくコーナーを用意し、できた短歌をSNSで拡散したくなる工夫をしました。

さらに双方向性をキーワードに、Twitterを活用して実施した短歌募集では1,596首もの応募があり、SNSと展示を連動するという新たな展覧会の楽しみ方を創出できました。Twitterのフォロワーは会期中に550人以上増加し、本展に関するツイートが増加するなど、文学館のプロモーションとしても大きな成果となりました。

このような取組みの結果、20代を中心に若いお客様が来館され、3,000人の目標に対し、4,993人の観覧者を得ることができました。

(1) 関連事業

<イベント>

実施日	タイトル	参加人数	備考
2月12日 3月5日	岡野大嗣 短歌教室	29人 27人	
2月13日	57577展で遊ぼう!	5人	
2月23日	鈴掛真×天野慶 記念対談	33人	
3月6日	伊藤紺×秋山智憲 記念対談	36人	

<SNS と展示の連動企画>

デザイン短歌募集：出品者の秋山智憲氏が自身の SNS で募集 86 首
Twitter による短歌募集：全 6 回 1,596 首

(2) 協働事業

芹ヶ谷公園「FutureParkLab」とのコラボイベント「オカシなをかしな57577」を3月13日に開催しました。芹ヶ谷公園に散らばった“ことば”を組み合わせてオリジナル短歌をつくる体験ゲームで、参加者は230組、できた作品は175首でした。

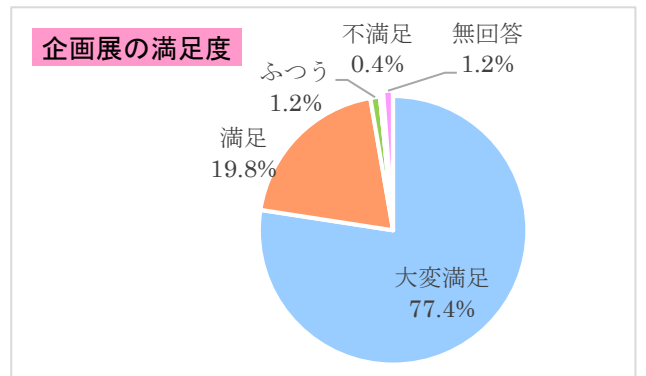
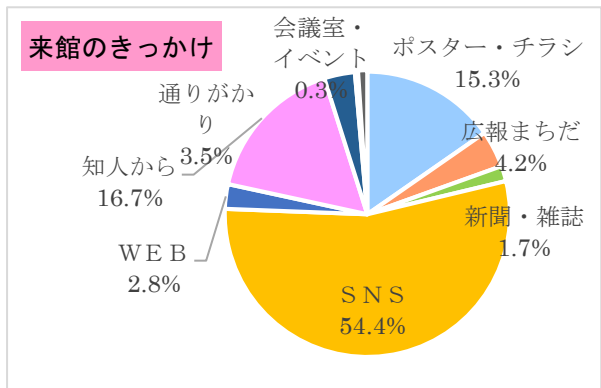
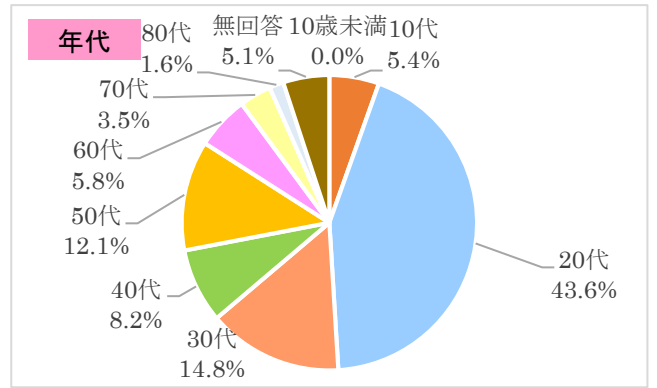
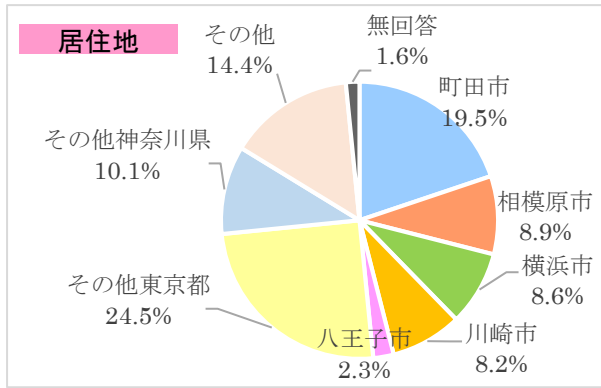
(3) 来館者傾向とアンケート

本展では20代の女性やカップルの姿をたくさん目にしました。アンケートでも20代が44%と半数を占めました。SNSを見て来館したと回答したお客様が54%と、SNSとの連動企画が集客に結びつきました。都内からの方が最も多く、遠くは北海道や沖縄から来館される方もいらっしゃいました。また、「こんな展覧会を開催できる、町田は素晴らしい」「町田を好きになった」という嬉しいご意見も頂きました。

その他の感想は以下の通りです。

- ・「とても見応えのある展示で2時間かけて来たかいがありました。短歌の魅力に浸ることができたし、作ってみたいと思いました。ことばは幾つ持っていてても重荷になることがないからいいですね。たくさん力をもらえました」(20代)
- ・「アート作品から始まり、歌人毎の世界観のデザインのブースにどっぷり浸り、ジェンガなどで同伴者と大いにはしゃぎ、とても!! 楽しかった!! です!!」(30代)
- ・「短歌のみりよくを初めて感じました。次回じっくり味わいにまた来たい。できれば何回も来たい。展示の仕方もすごい！」(30代)

アンケート集計より



展示会場



作歌体験コーナー



「短歌募集」展示

